



こども110番のいえ

「こども110番のいえ」の看板を個人のお宅や店舗、事業所の門扉などに掲示することで、いざという時に「子どもたちが駆け込める目印」になります。看板が設置されていることにより、不審者からの声掛け防止といった、犯罪の抑止に効果が期待されます。



玄関や庭先などに掲示されている看板

特集

町の子どもたちを、町のみんなで育てる仕組み。



開成町の教育は、地域の皆さんに支えられています。今回は、子どもたちを支える地域の取り組みを紹介します。

問 教育総務課 ☎82-5221

自治会
活動

地域の見守り活動

円中



円中自治会では、毎月1、15日の登校指導日以外にも、自治会交通安全部が中心となって、子どもたちの安全を見守っています。大きな交差点や車の通りが多い場所に地域の皆さんが立ち、黄色い横断旗を振ります。たくさんの地域の皆さんに「おはよう」「いってらっしゃい」と声をかけられて、子どもたちは元気に登校しています。



開成幼稚園年長の皆さん

開成町はすべての学校が コミュニティ・スクール!

学校運営協議会を設置している学校を「コミュニティ・スクール」といいます。全国でも、自治体内のすべての学校に設置しているのは294自治体。開成町は全国に先駆けてこの取り組みを始めています!



おでかけパトロール

買い物などの機会を利用して防犯活動にご協力いただく「おでかけパトロール」。自転車のカゴなどにプレートをつけて町内を走っていただくことで、子どもへの犯罪、空き巣、忍び込みなどの犯罪の抑止に効果を上げています。



カゴにぴったりの看板

子どもたちを育てるとい
ひとつの目標に向かって
話し合う貴重な場なんだね



開成幼稚園長
井上 義文

学校運営協議会には、開成小学校・開成南小学校の校長時代と現在の開成幼稚園長として3つの学校で関わりを持っています。

開成町は、もともと学校と地域の距離が近く、運営に協力的な方が大変多い地域です。その中で、学校運営協議会を通し地域の方々(委員さん)から客観的なご意見をいただき、まさに「学校の応援団」になっていただいていると感じています。

今後も学校が元気であり続けるため、地域とともにgive and takeでありたいと思います。

町のみんなで見守る



子どもたちの生きる力は、学校の中だけで育まれるものではなく、子どもたちの健やかな成長には、たくさんの人との関わりや様々な経験が必要不可欠であり、町全体で子どもたちを育むことが重要です。

コミュニティ・スクール

地域の皆さんが学校に関わることで、子どもたちと地域とのつながりは強くなります。子どもたちが地域の一員という意識を持ち、さらには郷土への愛着を深めることにもつながります。

町では、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育むため、全ての幼稚園・小学校に「学校運営協議会」を設置しています。学校と地域の協働による防災訓練、ボランティアなど、「地域とともにある学校づくり」につながっています。

町のみんなで育てる

子どもたちの生きる力は、学校の中だけで育まれるものではなく、子どもたちの健やかな成長には、たくさんの人との関わりや様々な経験が必要不可欠であり、町全体で子どもたちを育むことが重要です。

○こども110番のいえの看板は、いつでも交換できます。

○おでかけパトロールの看板は、教育委員会で配布しています。